



プレスリリース



平成28年8月1日

国立研究開発法人 水産研究・教育機構

平成28年度 第1回 太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
中央水産研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(平成28年8月~12月)のポイント

海況

黒潮は、9月上旬まで小規模なB型^(※1)・C型^(※1)で、9月中旬以降N型^(※1)基調で推移する。沿岸水温は、潮岬以西が「高め」^(※2)、熊野灘~伊豆諸島北部海域が9月上旬まで「平年並」^(※2)~「やや高め」^(※2)、9月中旬以降「平年並」~「低め」^(※2)、房総~鹿島灘が「平年並」~「やや高め」で推移する。

※1 黒潮を遠州灘沖から伊豆諸島周辺海域の流路で分類する

B型：八丈島の北を通過、流路南端が北緯32度以北で33度以南

C型：八丈島の南を通過

N型：八丈島の北を通過、流路南端が北緯33度以北

※2 平年並=平年値±0.5℃程度、やや高め=平年値+1.0℃程度、

高め=平年値+1.5℃程度、低め=平年値-1.5℃程度

漁況(来遊量予測)

マイワシ

前年を上回る海域が多い。

カタクチイワシ

紀伊水道以西では前年並~上回る、
熊野灘以東では前年並~下回る。

ウルメイワシ

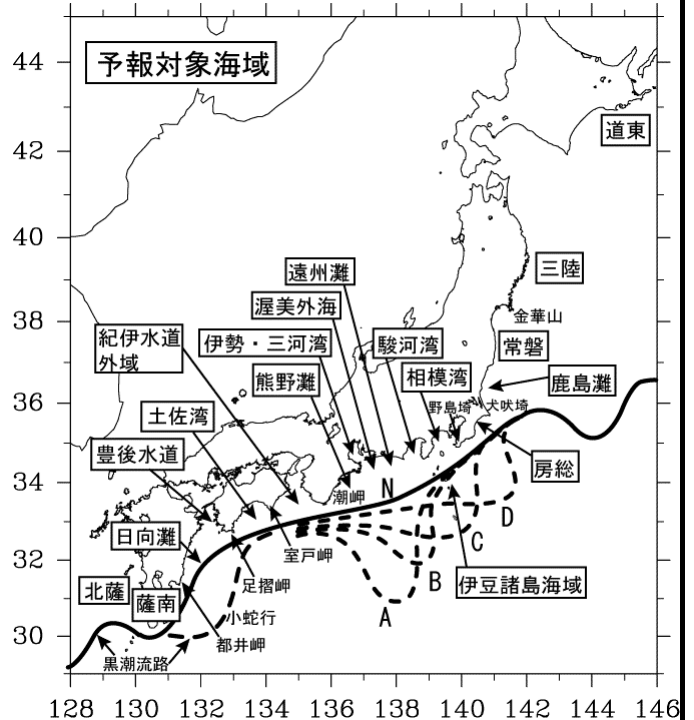
前年を上回る海域が多いが、
全体としては前年並。

マアジ

紀伊水道外域西部以西は前年並~上回る、
紀伊水道外域東部以東は前年並~下回る。

マサバ・ゴマサバ

マサバは前年並。ゴマサバは前年を下回る海域が多い。



問い合わせ先

国立研究開発法人水産研究・教育機構 中央水産研究所

担当：業務推進部 野上、市橋

漁況：資源管理研究センター 錢谷、由上、上村、高須賀、亘

海況：海洋・生態系研究センター 杉崎、清水

電話：045-788-7615、ファックス：045-788-5001

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.fra.go.jp/>

参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場 函館水産試験場	和歌山県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	徳島県立農林水産総合技術支援センター 水産研究課
岩手県水産技術センター	高知県水産試験場
宮城県水産技術総合センター	愛媛県農林水産研究所 水産研究センター
福島県水産試験場	大分県農林水産研究指導センター 水産研究部
茨城県水産試験場	宮崎県水産試験場
千葉県水産総合研究センター	鹿児島県水産技術開発センター
東京都島しょ農林水産総合センター	地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所 水産研究部 水産技術センター
神奈川県水産技術センター	香川県水産試験場
静岡県水産技術研究所	一般社団法人 漁業情報サービスセンター
愛知県水産試験場 漁業生産研究所	(取りまとめ機関)
三重県水産研究所	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 中央水産研究所